

ネイチャーセンターだより



5月のみどころ

【上旬】

シギやチドリの渡りのシーズンがやってきます。干潮時の潮間帯で、ミヤコドリやトウネン、コチドリなどがエサを取るためにちょこまかと走り回ったりします。また、タンチョウがエサを探しに出てきていることも。

自然学習林では、今年は少し遅く咲き始めたザゼンソウやフクジュソウの花が見られます。また、湿地では、ミズバショウが花の盛りを迎えます。



オオバナノエンレイソウ

【下旬】

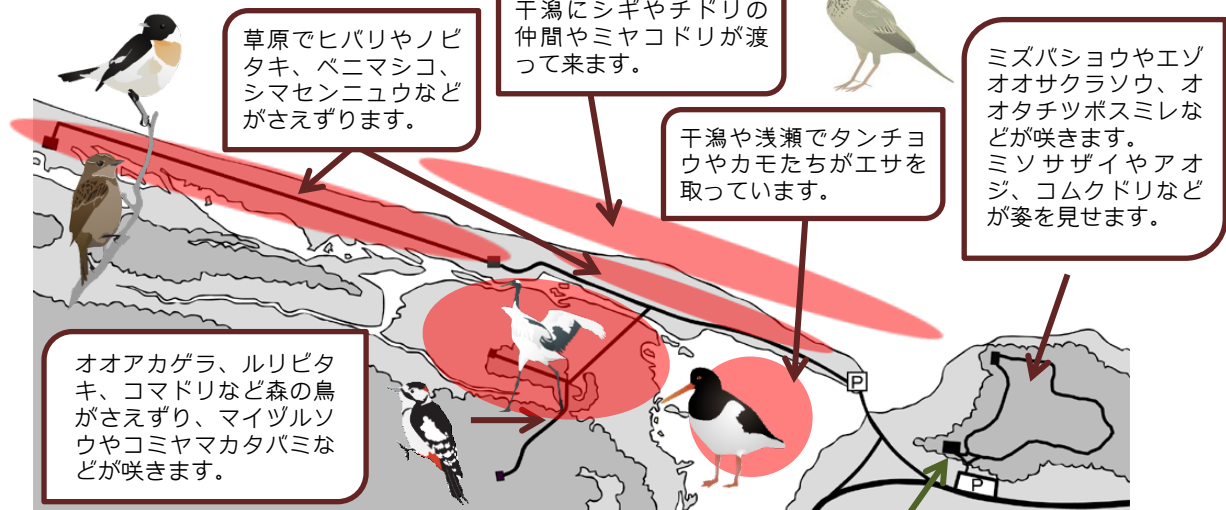
自然学習林や春国岱で、ヒメイチゲやコミヤマカタバミなどの春の花が次々と咲いてゆきます。白い大きな3枚の花弁が目を引きオオバナノエンレイソウも花を開きます。

森や草原には夏の間この辺りで子育てをする小鳥たちが渡ってきます。早朝、ノビタキやノゴマ、ベニマシコ、カッコウ、コマドリなどが爽やかにさえずる声が聞こえてくるようになります。



コチドリ

おすすめスポット



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

トピックス

虫眼鏡は必需品！？

5月になると春の花が次々と咲き、自然観察路の周辺がにぎやかになります。花々を見ながら散策するだけでも楽しい季節ですが、少し足を止めて花や葉をよく見てみると、また違った表情を見ることができます。

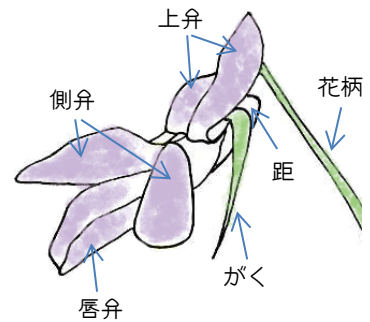
特に、見れば見るほど面白いのがスミレの仲間です。パッと見にはあまり違いが無く見分けにくい花ですが、虫眼鏡などを使って細かい部分を見ていくとだんだんと違いが見えてきます。

スミレを見分けるにはいくつか大切な観察ポイントがあります。花の部分だけでも、色はもちろん、側弁の付け根に毛が生えているか、距の長さや色、形はどうか、がくの形や毛の有無はどうか、花弁や花全体の形はどうかといったチェックポイントがあります。こうした毛など細かい部分を見る際に虫眼鏡があるととても便利なのです。

草花を遠近高低様々な角度から観察すると意外な発見があったりします。草花を傷つけたり、周りを踏み荒らしたりしないように気を付けて、ぜひ観察してみてください。



ミヤマスミレ



春国岱クイズ

夏に根室に渡ってくるアマツバメ。ブーメランのように細く長い翼をしていて、高速で空を飛びまわります。飛ぶのが得意なアマツバメは、どうやってエサをとるのでしょうか？
※ヒント：子育てで巣にいるとき以外は飛び続けて生活します。

(A、Bの中から答えを選んでください。)



- A. 水に飛び込んで、魚を捕まえて食べる。
- B. 飛びながら口をあけて昆虫を捕まえて食べる。

答えは次号に掲載します。(先月号の答え…B)

いきもの図鑑



英名 Brown-headed Thrush
学名 *Turdus chrysolaus*

アカハラ

(ヒタキ科)

ツグミの仲間で、名前の通り胸から脇腹にかけて赤っぽい色(オレンジ色)をしています。夏の間、根室で過ごし、森林で子育てをします。本州では夏にやや標高の高い山地の森にいますが、根室では平地で見られます。梢で「キヨロン、キヨロン、ツイー」と囀ったり、地面でミミズなどを捕ったりします。

レポート

ボランティアグループ スンク総会開催！

4月14日、平成26年度のスンク総会が開催されました。

今年も毎年人気のネイチャーセンター祭りを開催する予定です。その他、自然学習林に咲く花を紹介する花名板を作って自然観察路につけていく活動やネイチャーセンターのイベントや調査のサポートなどを計画しています。

新しいメンバーも随時募集していますので、ご興味のある方はネイチャーセンターまでご連絡ください。



NEWS

新しいレンジャーがやってきました

4月より日本野鳥の会で働いています善浪めぐみと申します。ある時は南の島で(日本です!)添乗員として働き、またある時は携帯電話の電波が届かない山中のビジターセンターに身を置いてみたりと様々な経験を経て、この度根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター勤務となりました。

ネイチャーセンターの窓から見える景色は、道産子の私ですら感激する自然豊かな環境が広がっています。タンチョウが悠々と歩く姿、海辺でオジロワシがたそがれている(ように見える)姿、カモたちが忙しくエサを取る横で漁師さんたちも貝を採っている姿が見られます。人と生きものたちが、この先ずっと自然の恵みを分け合える関係で居続けられるにはどうしたらよいか考えていきたいと思っています。



皆さんも春国岱へぜひ遊びに来てください。鳥や花や自然のことたくさん話しましょう！

自然学習・出前講座に対応しています

春国岱ネイチャーセンターでは、学校や団体、グループでラムサール条約湿地「風蓮湖・春国岱」や根室地域の自然や生き物、外来生物問題、環境問題などについて学ぶ際のサポートを行っています。

春国岱などで野鳥や自然観察を行う野外活動や展示や映像、ゲームなどで自然を学ぶ屋内での自然学習などを行っています。また、レンジャーが地域に出向いて屋内での自然学習や講演、野外での自然観察などに対応する出前講座も行っています。ぜひ、ご活用ください。


根室市外の団体の方で出前講座をご希望の際はご相談ください。来館されての自然学習につきましては、根室市内外にかかわらず、ご利用いただけます(事前にお申込が重要です)。



海辺の生き物観察

行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ、
電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
5/25 (日) 6:30~9:00	春のバードウォッチング 早起きをして、春を探しに出かけましょう！ ひとりなら見過ごしてしまう小さな生きものも、みんなで歩けばたくさん出会えるかも？！ 双眼鏡の貸し出しもしていますので、お気軽にご参加ください。 	100円	定員 20 名（先着） 5/20 までにお申込みください ※小学生以上、小学生は保護者同伴 ※集合：春国岱ネイチャーセンター ※持ち物：野外で活動できる暖かい服装、あれば双眼鏡
4/31~5/6 9:00~17:00	クラフトコーナー 貝殻や木の枝、木の実などを使って工作をすることができます。見本を見たり、自分で考えたりしながら、自然の物を使って生き物などを作ってみませんか？	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご利用いただけます。
いつでも 9:00~17:00	ほんもの探しゲーム 本物そっくりの生き物の模型の中から、自然の中から拾ってきたもの（ほんもの）を探し出します。全部見つかるかな？	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご利用いただけます。

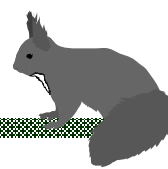
ボランティア マナーを守って…

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループスunkと個人参加のフィールドボランティアが活動しています。レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめるれます。気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：
 フィールドボランティア 300円
 ボランティアグループスunk 1500円

美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地
 TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570
 Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp
 URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆5月の休館日：7~9, 12~14, 21, 28日

◆5月の開館時間：9:00~17:00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。（要 事前申込）